



社長のための
経営雑学

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

第 425 号 令和 1 年 8 月 8 日（木）

発行 税理士法人 KJ グループ

〒536-0006 大阪市城東区野江 4 丁目 1 番 6 号

TEL : (06) 6930-6388

FAX : (06) 6930-6389

**全国の酒類小売業者数は約9万者
約4%のスーパーが約38%を売上**

酒類小売業者数全体では約4%のスーパーが約38%を売り上げたことが、国税庁が公表した「酒類小売業者の概況」（2017年度分）で分かった。それによると、2018年3月31日時点において免許を有する酒類小売業者は 9 万631者で、その販売場数は16万434場、総小売数量は811万3987キロリットルだった。小売業者の事業者数をみると、「一般酒販店」（構成比44.0%）が最多、次いで「コンビニエンスストア」（同35.3%）、「その他（農協、生協など）」（同13.8%）、「スーパーマーケット」（同3.5%）、「業務用卸主体店」（同2.2%）、「量販店（ディスカウントストア等）」（同0.8%）、「ホームセンター・ドラッグストア」（同0.3%）、「百貨店」（同0.1%）と続く。販売場数では、「コンビニエンスストア」（構成比34.2%）が最多、次いで「一般酒販店」（同26.0%）、「その他（農協、生協など）」（同14.2%）、「スーパーマーケット」（同12.8%）、「ホームセンター・ドラッグストア」（同8.6%）などと続く。

小売数量をみると、「スーパーマーケット」が全体の37.6%を占めて最も多い。つまり、事業者数では3.5%に過ぎないスーパーが全体の 4 割近くを売り上げていることになる。次いで、「一般酒販店」13.1%、「量販店（ディスカウントストア等）」11.7%、「コンビニエンスストア」11.5%、「業務用卸主体店」10.1%、「ホームセンター・ドラッグストア」10.1%などが続き、「百貨店」が0.7%と最も少ない。